

山名・山域	熱海の玄岳
山行目的	10月の低山山行・ 穏やかハイク
山行期間	11月1日
参加者	CL 高橋 SL 酒井 石渡 吉田 渡辺 出村

ルート、コースタイム

熱海バス停（ひばりヶ丘行き）9時25分発～玄岳ハイキングコース入り口9時43分着、舗道～15分
登山口10時～11時草はら（休憩10分）～氷ヶ池分岐～頂上11時半・11時40分～分岐～12時
30分 氷ヶ池駐車場付近のベンチ（昼食）12時45分～分岐～13時草はら（休憩）13時20分～
玄岳ハイキングコース入り口バス停14時30分 バス14時36分発

山行記録（記録性を重視し、天候、コースの状況・特徴、注意点、必要になった用具など）

JR利用の熱海へは心もゆったりする。バスを下車してからの舗装道路は今回のコースで一番の急登。
生活道路とは思えないほど。道路にせり出した、たわわに実った柿は誰も収穫しそうにない。
ハイキングコース入り口すぐから竹林が続く。木立の道は迷うことなく頂上までゆるやか。
1時間程樹林を行くと、突然視界が開け、草はらに出る。眼下に相模湾、草の上に座って水分補給。
頂上と氷ヶ池との分岐を通り、笹原を分けて、頂上へ。
笹原で覆われた頂上から富士山、左手に駿河湾と沼津の山並み、右に箱根の山と相模湾が望める。
快晴時の360度パノラマとはいかなかったが、晴れだったので、まずまず。
風があったのでそこそこに、氷ヶ池に向かう。
山頂からのコースは手が入っていないようなので分岐から行く。ロープ道を急降し伊豆スカイラインに出るが、
池への降り口が遠く、途中のベンチで池を見下ろしながら昼食とする。
草はらに戻ってゆっくりと休憩。14時36分のバスに乗る。清水町で下車し、夢いろは（旧あいおら）の
温泉で汗を流す。反省会は列車の中でおとなしく。

反省と教訓

氷ヶ池へのルートがわかり難かった。分岐からのルートは正解だが、途中、伊豆スカイラインに下りる近道を見落としやすいので注意が必要。

※ホテル「夢いろは」は色っぽい屋号ですが、きちんとした観光ホテルでした。日帰り温泉900円。

ちなみに 和室13畳以上、源泉掛け流し、1泊朝食付き3、700円、驚きの安さです。

2015/11/1 報告者 Y

9:45 玄岳ハイキングコース入口バス停—11:20 分岐—11:40 玄岳頂上—12:00 分岐—12:30 伊豆スカイライン
駐車場—13:00 分岐—14:20 玄岳ハイキングコース入口バス停—15:00 熱海温泉ホテル「夢いろは」
山行は当初予定の10月31日土曜日だったら曇天で寒い一日であったが、1日延びて日曜日となったので晴天に
恵まれた。熱海駅から「ひばりが丘」行バスに乗り、玄岳ハイキングコース入口バス停で下車。住宅街の中の急
な舗装道路を上っていく。15分ほどで林の中に入り、登山道路らしくなる。木洩れ日のさす気持ちの良い道を
約1時間半ほど登ると急に目の前が開け、眼下に海が広がる景色の良い野原に出た。周辺には青い可憐なりん
ドウが群生している。風がなくポカポカと暖かいのでここで一休み。しばらく行くと分岐があり、左折して玄岳
頂上へ向かう。右折すると氷ヶ池へ下ることができる。ここから一面の熊笹の中の道を20分ほど上り詰めると

頂上だ。頂上からは360度視界が開け、近くには沼津市外と銀色に光る海、遠くには雲間から富士山が顔を出している。最高の景色だ。ここで集合写真を撮り、登ってきた道を引き返した。

少し時間が早かったので氷ヶ池方面へ急な下り坂をくだり、伊豆スカイラインまで下りた。自動車道を歩き、池へ向かう道を探したが分からなかった。少々時間をロスしたが気を取りなおし、分岐点まで戻り一気に下山した。バスで熱海市街まで戻り、熱海温泉ホテル「夢いろは」の内湯で汗を流し帰路についた。（入湯料900円也）



